



和光の緑と湧き水だより 会報 Verda 163号

湧き水ワッキー

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2016年4月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

	全体会	新倉ふれあいの森	白子・大坂ふれあいの森 (地域の会と協力)	樹林公園
4月	23日 タケノコ掘り 29日 つつじ祭り散策会、湧き水カフェ	16日 定期保全	9日 湧水ボランティア体験会 20日 大坂保全	どんぐりの森観察
5月	14日 通常総会 18日 文理シナジー学会 22日 緑化祭り ネイチャークラフト	21日 定期保全	11日 富澤保全予定 19日 (木) 大坂保全予定	

1. コープみらい地域かがやき賞の受賞・和光市長にご報告 3月18日

“生活協同組合コープみらい”の社会貢献活動表彰・助成事業「コープみらい地域かがやき賞」を受賞することが出来、会として大変光栄です。多くの皆様のご協力に支えられ感謝です。今回は、特に白子湧水群の当会の活動「身近な自然を知り、保全し、生かす活動」が実り、富沢湧水のある斜面林一帯が「白子宿特別保全緑地」の指定を受けたことなど、保全に向けた大きな道筋が明らかになってきた矢先です。3月12日授賞式、3月18日には和光市松本市長への報告会を持つことが出来ました。

コープみらいの代表理事はじめ皆様方には大変な歓迎を受け、地域交流も進みました。埼玉はコープみらいの活動が活発で、千葉、東京に比べ応募者が大変多かったとのこと。

また、和光市長への報告会では、松本市長からお祝いのお言葉をいただきました。和光の湧水環境の保全が進み、白子湧水群が地域に根付き広がりが出来たこと、かつてここに水車があちこちに置かれていた様子のお話も伺いました。この報告会では、中学生2名も参加し、和光市長とお話することが出来、将来の夢が膨らむ報告会となりました。

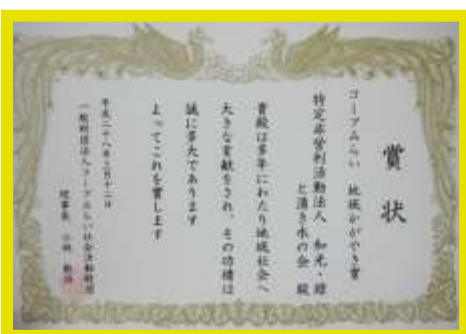
このような機会に恵まれて、さらに一步前進するエネルギーをいただけました。都市部のなかでの身近な自然をしらべ、活かした保全をし、伝えていく活動を皆さんで続けましょう。



コープみらい地域かがやき賞授賞式



和光市松本市長への報告会



2014年度 文理シナジー学会において、高橋勝緒さんが、NPO 法人としては先駆けとなる自然環境活動の発表を行い、「学術賞」を受賞しました。

受賞対象は

「和光市の自然保護における異分野交流」と題しての発表です。文系、理系両方の交流によって、環境保全が行われているとの考え方が受け入れられ、受賞しました。